

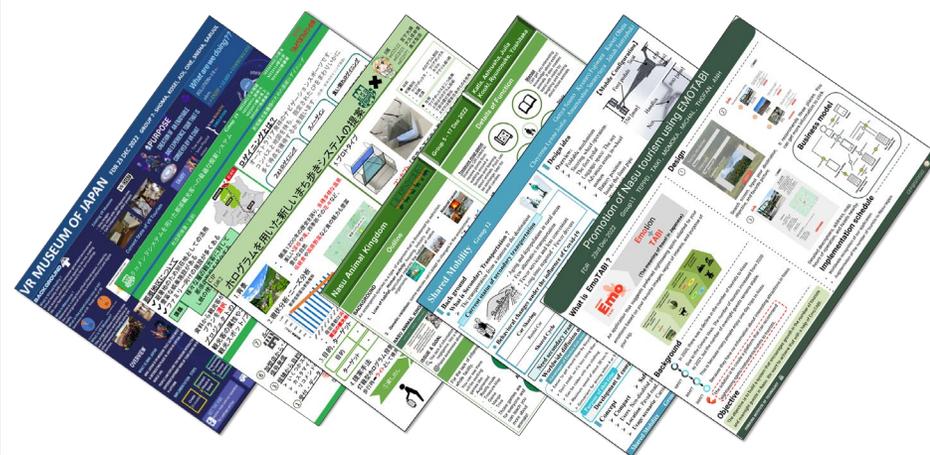
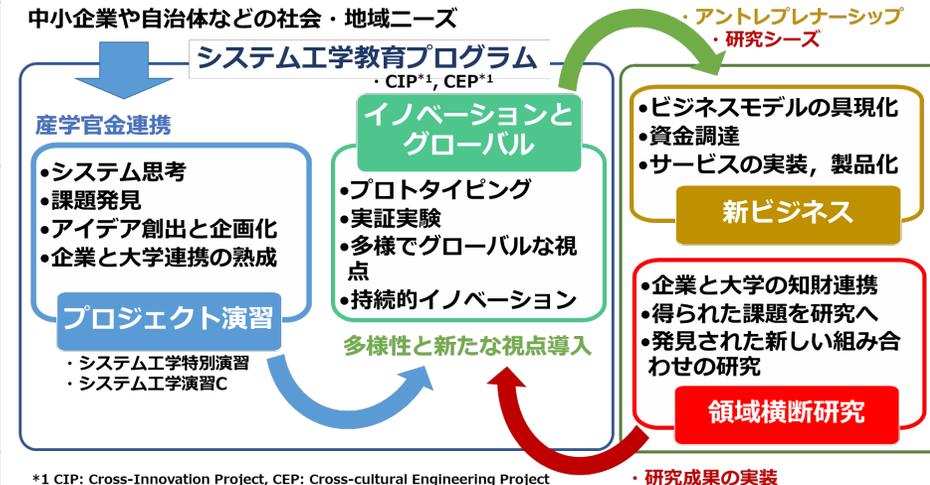
# 知的創造の担い手となる人材育成のための 産学官連携スキームの開発

## 主な連携先地域：

埼玉県，さいたま市，川口市，那須町・那須地区，姫路市，神戸市



<p>対象地域の特徴や課題</p>	<p>「社会・地域ニーズからスタート」することで，成長の駆動力として地域社会と協働し，地域経済の発展を加速化させます。対象とする地域は，関東圏，兵庫県（関西圏）とし，事業者と学生，海外学生が協働することで，Z世代の感性を使ったイノベーション創出を，地域社会や経済の発展のために提供致します。</p>
<p>取り組みの概要や特徴</p>	<p>産官学連携は，「敷居が高い」「相手にしてくれない」「考えたこともない」と思っていないですか。本取り組みでは，企業の業務課題や新規事業開発を研究課題とするのではなく，様々な分野の大学院生が集まった領域横断型プロジェクト課題としてシステム工学教育に導入し，皆さんと一緒に課題発見や企画立案から取り組んでいます。具体的には，①システム思考に基づく企画立案，②実証実験とプロトタイピング，③多様な視点の導入によるイノベーションの創出，ビジネスモデルの提案。ここで得られた成果から，研究要素を抽出，④領域横断型研究，③イノベーション創出へとつないでいく産学官連携スキームで進めています。</p>
<p>主なプログラムなど</p>	<p>(1) システム工学特別演習*1とシステム工学演習C*2：システム思考に基づく企画立案 協働先の課題や新事業等を体系的にアプローチ(システム思考)。産業界・地域・教員によるデザインレビュー，課題発見，アイデア創出を経て企画立案。2023年度までの直近3年間で課題提供先数は61件。71プロジェクトを実施。 (2) クロスイノベーションプロジェクト*3：企画の具体化と実証実験 立案された企画の具体化。プロトタイピングや実証実験。実行結果を産業界・地域・教員によるデザインレビュー。 (3) Cross-cultural Engineering Project*3：多様な視点の導入 持続的イノベーションの発想で，海外学生と共に再検討。異なった視点による課題解決策の提示。 (4) (1)～(3)のステップを経て解決策を総合，最終提案。</p> <p>*1 大学院システム理工学専攻必修科目，*2 システム理工学部システム・情報科目，*3 大学院システム理工学専攻選択科目</p>



<p>担当研究室名/担当教員</p>	<p>大学院システム理工学専攻 長谷川浩志，渡邊大，田中みなみ，後藤裕介，市川学，持永大，村上嘉代子</p>
<p>関連サイト</p>	<p>埼玉県産業振興公社，那須町観光商工課&amp;ふるさと定住課，塩原温泉観光協会，ナスコンバレー協議会，兵庫県中小企業家同友会チームIT神戸，企業等</p>